

## 「平成25年度 エンジニアリング奨励特別賞」受賞について

記者各位

当社(社長:一色 誠一)が千代田化工建設株式会社(社長:澁谷 省吾)と共同で取り組んだ「HS-FCC<sup>※1</sup>実証化プロジェクト<sup>※2</sup>」が、このたび、「平成25年度エンジニアリング奨励特別賞」を受賞し、昨日7月23日(火)、下記のとおり表彰式が開催されましたので、お知らせいたします。

「エンジニアリング奨励特別賞」は、実用化が期待される先駆的技術の開発に顕著な功績のあった事業を対象として、一般財団法人エンジニアリング協会<sup>※3</sup>が表彰するもので、今回で5回目となります。

表彰式では、高橋 誠エンジニアリング協会理事長から、プロジェクトチームに対して表彰状が授与されました。

HS-FCC(高過酷度流動接触分解)は、従来型のFCC(流動接触分解)がアップフロー(重力に逆らう流れ)であるのに対して、重力に逆らわないダウンフローを採用することで反応時間が均一になり、プロピレンや高オクタンガソリン等を高収率で生産できる画期的な技術です。

当社水島製油所に処理量3,000バレル/日の実証装置を建設し、2011年5月から実証運転を行ってきた実績が高く評価され、今回の受賞となりました。

今後も、処理量数万バレル/日規模の商業装置の設計技術を確立することを目的に、実証運転を続けてまいります。

### 記

<表彰式の概要>

1. 受賞対象 : 「HS-FCC実証化プロジェクト」
2. 日時 : 7月23日(火) 17:00~17:45
3. 場所 : 第一ホテル東京「プリマヴェーラ I」(4F)
4. 当社受賞者 : 技術部 技術企画3グループ 小笠原 巖 ほか計10名



右 中央技術研究所 燃料研究所 CRI・触媒グループ グループマネージャー 藤山 優一郎  
左 技術部 技術企画3グループ 担当マネージャー 小笠原 巖

※1 High Severity Fluid Catalytic Cracking

※2 経済産業省の公募事業「革新的次世代石油精製等技術開発事業」の一環として実施。

※3 1978年にエンジニアリング産業振興を目的に発足した公益法人で、エンジニアリングに関わる調査研究・人材育成事業等、幅広い事業を行っている。会員企業数は150社(2013年4月現在)。

以上